

# 平成 30（2018）年度ながの環境パートナーシップ会議活動報告書

## 活動の概要

平成 30（2018）年度は、長野市の環境ビジョンの実現に向け「つなぐ・伝える・行動する」を行動指針とし、プロジェクト、フォーラム、広報活動などに取り組みました。また、昨年度に見直しを行った、本会の行動指針である「アジェンダ 21 ながの-環境行動計画-」に基づき、新たなプロジェクトの創設や事業者・他団体との連携など、新たな協働による環境活動を展開しました。

## 1 各プロジェクトの活動

### (1) プロジェクト及びスペシャルプロジェクトへの取り組み

#### ① 生ごみ削減・再生利用プロジェクト

キッズ生ごみ農園クラブを創設してから3年が経過。生ごみの堆肥を利用して野菜を収穫し、夏と秋に収穫祭を開催したほか、生ごみと野菜の交換市を8月～11月まで定期的に開催、朝市で野菜の販売もできました。また、各種イベントに参加(信州環境フェア及びアモーレフェスタにて展示説明、プレゼンステージ「楽しい生ごみ教室」、クイズ等)し、啓発活動を実施しました。

自治協と共催の「生ごみ堆肥化講座」「エコ料理教室」は、生ごみを減らして堆肥を家庭菜園等に活用する地域内循環を呼び掛け6年経ち定着してきています。

#### ② レジ袋使用削減プロジェクト

啓発用ツールのパンフレットを長野市内の全小学校に配布しました。これらの活動が実りマイバッグ持参率が3年連続で60%を超えました（平成30（2018）年度：67.5%）。

#### ③ 市民の森づくりプロジェクト

平成30（2018）年度は里山散策、高校生の森林整備体験、かんじき体験会、きのこの駒打ち体験会などの活動を実施しました。第二の市民の森選定作業は進みませんでした。しかし、「あさかわの里山と森を守る会」との合同作業など地元の方々とのつながりを進める活動ができました。しかし、本年度は作業中断の期間があり、活動参加者は年間400名程度でした。他のチームなどとも協力し、体験会なども活用の上、活動の輪を広げて行きます。

#### ④ 太陽エネルギー普及促進プロジェクト

活動継続に向けて調整中。令和元年度はリーダーを交代して活動を再開する予定。

#### ⑤ 聖山自然復元プロジェクト

リーダーの体調不良等諸事情により計画していた現場での活動ができませんでした。

#### ⑥ 子どもの環境学習支援プロジェクト

中高生、大学生を対象とした環境学習の支援として「国際ユース環境会議」（開催場所：信州大学教育学部しなのき会館）を開催し、26名のユースの参加を得て、「2030年の長野の環境と生活」をテーマに環境ワークショップや英語でのディスカッション等を行いました。韓国、中国、アメリカ、カナダ、ブラジルの5か国の外国籍ユース等と英語によりコミュニケーションを図ることで、ユースの視野の拡大を図りました。

都市農研究会や環境保全協会、NPOみどりの市民等いくつかの環境団体との連携および協力関係を構築することができました。

#### ⑦ ながのカーボンオフセットプロジェクト

事業者・団体・市民が手軽に参加できるカーボンオフセットクレジット（CO2排出権）の制度設計を予定していたが、具体的な活動の展開には至りませんでした。

### ⑧ 小生物の育成環境保全プロジェクト

小学校の観察会は昨年の2校から5校に増え、例年通り地元小学校児童生徒や市民を対象とした自然観察会を開催したほか、オオムラサキ繁殖地の整備（下草刈り・間伐・外来植物ニワウルシの除伐・飼育舎の設置等）を実施したことにより、越冬幼虫調査の結果、多くの幼虫を確認することができました。竹の入の入口の看板を加藤市長に書いていただき、11月に市長をお招きして除幕式を行いました。

### ⑨ ぼんすけ育成プロジェクト

ぼんすけ（シナイモツゴ）達が住むすばらしい里山の保全・再生を目指して、チーム自ら稲作と林檎の栽培を開始し「ぼんすけブランド」として販売しました。また、他団体等の協働によるため池の保全活動等を行うなどぼんすけを含む里山の保全活動が展開できました。

### ⑩ ゴマシジミ保護・育成プロジェクト

ゴマシジミの生息数が少ないため、現状維持に傾注しました。具体的には、生息地内の草刈・間伐の捕獲禁止の立て看板の作成・設置、生息地内のパトロール・注意喚起、ワレモコウの育苗・植栽・保護などを実施しました。また、ゴマシジミの一生を描いた紙芝居を作成し、啓発活動として各地で上演しました。

### ⑪ 生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全）プロジェクト

活動継続に向け調整中。令和元年度はリーダーを交代して活動を再開する予定。

### ⑫ 田中さくら公園づくり&里山づくりプロジェクト【新規プロジェクト：平成30年5月理事会で承認。同年6月から活動を実施】

「田中桜公園」の手入れの作業を行いました。また、公園の看板を作成し、「田中桜公園祭り」でお披露目のセレモニーを行いました。

### ⑬ 第8回ながの環境団体大集合スペシャルプロジェクト

ながの環境団体大集合の開催に向け、スペシャルプロジェクトを立ち上げ、全体構成やコンテストの方法等について各種団体等との協働により企画し、開催しました。なお、チーム員として学生3名が企画段階から参画しました。

（任期：7月17日（火）から1月10日（木）まで、会議開催数：8回）

【リーダー】 赤羽和春（ながの環境パートナーシップ会議）

【メンバー】 小林（長野市市民協働サポートセンター）、武井（長野市ボランティアセンター）、渡辺（ながの環境パートナーシップ会議）、堀池（長野市地球温暖化防止活動推進センター・ながの環境パートナーシップ会議）、河西（ながの環境パートナーシップ会議）、鈴垣（信州大学工学部）、安達（信州大学工学部）、鈴木（信州大学工学部）、関口（事務局）、吉原（事務局）

## (2) プロジェクトサポーター制度について

現在5つの各プロジェクトとサポーター事業者が次のとおり協働による事業を展開しました。

平成30（2018）年度中、新たに1つのマッチングを行うことができました。引き続き、事業者との協働体制による環境活動を推進していきます。

※プロジェクトサポーター制度とは…

事業者の参画をより一層促していくため、プロジェクト活動に協働・支援・共感等いただける事業者が、直接、プロジェクト活動に、人的・活動資金・活動場所などを支援いただき、協働体制による継続的な環境活動の展開を図ることを目的に平成28年度に当制度を創設しました。

※協働事業の状況は次のとおりです。

### 【協働事業の状況】

| プロジェクト名                  | サポーター事業者名     | 主な協働事業内容             |
|--------------------------|---------------|----------------------|
| 生ごみ削減・再生利用               | 長野市委託浄掃事業協同組合 | 夏、秋の収穫祭へ組合員が参加       |
| 子どもの環境学習支援               | 直富商事株式会社      | 国際ユース環境会議へ社員を講師として派遣 |
| 小生物の育成環境保全               | コマキ工業株式会社     | 桜の育苗事業に人的等の支援        |
| ぼんすけ育成                   | 信陽食品株式会社      | 自然観察会へ食品提供           |
| 生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全） | 株式会社公害技術センター  | 水質調査事業の人的等の支援        |

### (3) 信州大学工学部「地域環境演習 I 2018」の受け入れ

信州大学工学部の「自分でPDCAサイクルを機能させて行動できる人材」の養成を目指し実施する「地域環境演習 I 2018」の受講生を、各プロジェクトチームで受け入れ、協働による環境活動を行いました。

また、9月22日には、信州大学工学部で、参加学生による活動成果発表会が行われました。

【信大生の受入人数】 4人（前年度11名）

【受入プロジェクト】 レジ袋使用削減 1人、子どもの環境学習支援 2人、市民の森づくり 1人

## 2 ながの環境パートナーシップ会議全体での活動

### (1) 第8回ながの環境団体大集合

平成30（2018）年度は「私たちの地球環境と未来ーこれからの活動とSDGsー」をテーマに、環境活動に取り組んでいる団体や事業者などがSDGsを理解し合える場を設けるとともに、基調講演会・分科会・ポスターセッション等を実施し、参加者それぞれが今後どんな活動を行っていくべきなのか考える機会となりました。

日時：平成30（2018）年12月15日（土）午後1時～午後4時（開場：12時30分）

会場：長野市生涯学習センター4階 大学習室1・2・3、ホワイエ、控室1・2・3

#### 【基調講演会「SDGs時代に求められる環境活動」】

講師：一般社団法人環境パートナーシップ会議副代表理事 星野智子氏

SDGsの概要、国内外の動き、推進方法など環境に視点を置いた内容で講演いただきました。特に17の目標のほとんどが環境課題とつながっていることや課題解決のためには、官民協働等多様な主体同士とのパートナーシップにより環境保全活動を推進していくことが大事であると教えていただきました。

#### 【SDGsの取組事例発表会】

SDGsの達成に向けて取り組んでいる市内外の企業・団体の担当者をお招きして発表いただきました。

ア 株式会社八十二銀行 総務部環境室 調査役 坂本智徳氏

イ 里山ウェルネス研究会 フォレストデザイン 代表 余頃友康氏

ウ NPO法人長野県NPOセンター 事務局長 山室秀俊氏

#### 【ポスターセッション（ブース発表・交流）】

来場者は自由に各ブースを見学しながら、活動発表の確認や交流を行いました。また、フードドライブ及び信州子ども応援ドライブの受付コーナーを設置し、それぞれの活動を支援しました。

### 【分科会でワークショップ】

参加者全員が5つのテーマ（グループ）ごとに分かれ、SDGsの17の目標を達成するための新たな事業や仕組みづくりを考え発表していただきました。ワークショップでは、様々な意見交換が行われ、参加者同士の交流やSDGsへの理解が深められました。

### 【大集合した団体・企業・学校】

- 団体 NPO法人川中島福祉体育協会、NPO法人フードバンク信州、NPO法人NPOホットライン信州、天空の里 いもい農場、里山ウェルネス研究会（フォレストデザイン）、ライトダウンながの実行委員会、NPO法人みどりの市民、NPO法人長野県NPOセンター、ユースリーチ環境部、希少種の会、地球を守る会
- 企業 株式会社八十二銀行、ミサワホーム甲信株式会社、北信商建株式会社
- ながの環境パートナーシップ会議プロジェクトチーム  
生ごみの削減・再生利用、レジ袋使用削減、市民の森づくり、太陽エネルギー普及促進  
聖山自然復元、子どもの環境学習支援、小生物の育成環境保全、ぼんすけ育成、  
田中さくら公園作り&里山づくり

【参加者数】 111名（前年度：198名）

## (2) 公開学習会 2018

本会会員のみならず一般市民等も対象に、環境について学び、考える機会を提供するために実施した。今回は、アジェンダ21ながのー環境行動計画ー2018に盛り込んだ「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の「持続可能な開発目標」(SDGs)について学習した。

【日時】平成30(2018)年11月13日(火) 午後1時30分～午後4時30分(開場：13時)

【場所】長野市役所第二庁舎10階 講堂

【共催】長野市、信州大学工学部環境委員会

【講演会】「SDGsを理解して、行動を起こしましょう！」

講師：星野智子氏（一般社団法人 環境パートナーシップ会議 副代表理事）

### 【ミニワークショップ】

「自分の活動とSDGsのつながりを見つけよう！」ファシリテーター：星野智子氏

【参加者数】81名（内訳：市民3名・各種団体9名・各企業8名・市議会議員5名・県職員4名・P会議会員16名・信州大学7名・市職員29名）

## 3 広報

### (1) ホームページの運用

- ・各プロジェクトの出前講座やイベント等の予定及び活動報告などを掲載
- ・他団体などから情報提供されたイベント等を掲載

### (2) 平成29(2017)年度活動成果報告書「手をむすんで」を発行

ニュースレター「手をむすんで」に代わる本会の活動を情報発信していくため、新たに平成29年度のながの環境パートナーシップ会議活動成果報告書「手をむすんで」を発行し、会員や関係機関にPRしたほか、新規会員の勧誘時に活用いたしました。

【規格】 表紙4P 本文32P 中綴じ仕上げ

【印刷数】 500部

【内容】 ・ながの環境パートナーシップ会議の案内  
・平成29(2017)年度運営方針

- ・ながの環境パートナーシップ会議活動成果報告
- ・プロジェクトの活動成果報告
- ・信州大学工学部地域環境演習の報告
- ・新聞記事

【支援団体】 発行に際し、長野市地球温暖化防止活動推進センターの支援をいただきました。

### (3) イベント等への参加

#### ① 信州環境フェア 2018

【日時】 平成30（2018）年7月29日（土）午前10時～午後4時

平成30（2018）年7月30日（日）午前10時～午後4時

【会場】 長野市 ビッグハット

ながの環境パートナーシップ会議ブース来場者：320人

【内容】 ながの環境パートナーシップ会議の活動紹介（パネル展示、パンフレット配布など）

プロジェクト活動紹介、環境クイズ等（生ゴミ削減・再生利用、レジ袋使用削減、

ぼんすけ育成、田中さくら公園づくり&里山作り）

※新規会員の勧誘を行ったところ、3名が入会しました。

#### ② ながの環境フェア 2018

【日時】 平成30（2018）年9月30日（土）午前10時～午後2時30分

【会場】 長野市 リサイクルプラザ

ながの環境パートナーシップ会議ブース来場者：150人

【内容】 本会の全体的な紹介及び各プロジェクトチームの紹介

環境クイズ及び新規会員の勧誘等

### (4) 電子メール及び facebook の活用

平成30（2018）年4月から電子メールにて本会会員、関係機関及び長野市役所職員宛へ各プロジェクトチーム等が開催するイベントの情報発信を開始しました。また、facebookのページを作成し、会員以外の方にも情報発信を行っております。

## 4 他団体との連携

### (1) 第8回ながの環境団体大集合への事業所・環境保全団体への働きかけ

事業所・環境保全団体との連携強化を図るため、周知を図り参加依頼を行いました。

参加団体・事業者：14団体

### (2) 「ライトダウンキャンペーン 2018in ながの」に参加協力

本会は、ライトダウンながの実行委員会の構成団体として、温暖化防止・CO<sub>2</sub>削減の啓発活動に協力しました。

【キャンペーン期間】 夏： 6月21日（水）～7月7日（金） 午後8時から10時

冬： 12月7日（金）～12月22日（土） 午後8時から10時

### (3) 事業所・環境保全団体との活動の連携

【生ゴミ削減・再生利用プロジェクト】

住民自治協議会と協働で、生ごみの堆肥化講座を開催しました。

**【レジ袋使用削減プロジェクト】**

スーパーの協力を得て、レジ袋削減を考える会など多くの環境保全団体とともに店頭キャンペーンを行いました。

**【市民の森づくりプロジェクト】**

浅川地区の「あさかわの里山と森を守る会」との合同作業など地元の方々とのつながりを進める活動を実施し、協力体制の確立を図りました。

**【子どもの環境学習支援プロジェクト】**

「国際ユース環境会議」を、実行委員会、参加スタッフ、支援組織との協力により継続して開催しました。

**【小生物の育成環境保全プロジェクト】**

オオムラサキ繁殖地での活動を、住民自治協議会及び他の保全団体を含めて組織された連絡会で情報共有しながら、計画的な保全と環境学習会等を実施しました。

**【ぼんすけ育成プロジェクト】**

絶滅危惧種のシナイモツゴ（ぼんすけ）を保護していくため、県と連携を図りながら活動を実施しました。また、NPO法人生態工房（東京）との協働によりシナイモツゴの生息地であるため池の保全活動等を行いました。

**【ゴマシジミ保護・育成プロジェクト】**

長野市霊園に生息する絶滅危惧種「ゴマシジミ」の保護・育成活動を県、市及び研究機関との連携、協力により実施しました。また、浅川小学校児童の協力を得ながら、ゴマシジミの食草「ワレモコウ」の植栽を実施したほか、啓発活動として、紙芝居（がんばれ!!ゴマシジミ）を作成し、地元のボランティアクラブにこにこ一座と協力して各地で上演しました。

**(4) フードドライブ及び信州子ども応援ドライブに協力**

家庭で利用されていない食品・生活用品等の寄附を受け、必要とされている家庭や信州子ども食堂へお届けしているNPO法人フードバンク信州及びNPO法人NPOホットライン信州の事業に賛同し、フードドライブ及び信州子ども応援ドライブに協力しました。

| 事業名         | 実施日                  |
|-------------|----------------------|
| フードドライブ     | 12月15日：第8回ながの環境団体大集合 |
| 信州子ども応援ドライブ | 12月15日：第8回ながの環境団体大集合 |

**(5) 身近な水環境全国一斉調査2018に参加**

河川をはじめとする身近な水環境に対する市民の意識の高まりを受け、全国各地で数多くの市民団体等により水質調査が行われています。このような調査を全国統一の手法で同日に実施し、水環境に関する市民の理解と関心を深めることを目的に、平成16年から毎年、世界環境デー（6月5日）に最も近い日曜日を中心に全国一斉調査を実施しています。

そこで、本会では、この趣旨に賛同するとともに本会の活動の拡大と活性化を図るため、同調査活動に参加しました。

【開催日時】平成30（2018）年6月3日（日）午前8時～正午

【調査場所】長野市内の千曲川、犀川への流入河川等約50か所

【参加者数】5人

**(6) 特定外来生物「アレチウリ」の駆除活動に参加協力**

豊かな環境づくり長野地域会議が主催するアレチウリの駆除活動に参加協力しました。なお、本会は、同会議の会員です。

【開催日時】平成30(2018)年7月13日(金) 午前9時30分～午前11時

【駆除会場】長野市若穂牛島落合橋運動場周辺

【参加者数】9人

**(7) 山の日ウォーキングに共催**

山の日が制定されたことを記念し、毎年、山に親しむとともに自然の大切さや地域の歴史を理解するため開催しています。本会は、共催者として運営に携わりました(主催:長野市)。

【開催日時】平成30(2018)年8月11日(土・祝) 午前9時45分～午後1時30分

【場 所】長野市大岡聖山

【参加者数】51人

**(8) 長野市環境こどもサミットに参加協力**

こども達が環境問題を理解し、地球環境について深く考え、今後の活動を契機となる場を提供するため、毎年環境こどもサミットが開催されています。本会は、主催者である同サミット実行委員会の構成メンバーとして、運営の一翼を担いました。

【開催日時】平成30(2018)年10月28日(日) 午前10時～午後1時

【場 所】長野市 リサイクルプラザ

【参加者数】300人

**(9) 地域づくり出合いのひろば(主催:長野県長寿社会開発センター)に参加**

シニア世代や地域づくりに関心のある者がボランティア活動や地域づくり活動、就業などの社会参加活動に積極的に取り組むとともに、地域・業種を超えた新たな連携や協働の創出を図るため、「人材を求める側」と「何かをしたい側」を効果的にマッチングする「地域づくり出合いのひろば」に参加し、本会の活動を大いにPRしてきました。今後も主催者である長野県長寿社会開発センターと情報共有を図りながら、新規会員の勧誘や他団体との協働連携を推進していきます。

【開催日時】平成31(2019)年1月29日(水) 午後12時30分～午後4時

【場 所】長野県社会福祉総合センター

【本会参加者】倉島事務局長、関口(事務局)

※本会ブースへ来訪した人数 男性:5人 女性:5人 計10名

※P会議と今後連携が可能と思われる団体数 3団体

**(10) 「長野市ポイ捨て、道路等における喫煙等を防止し、きれいなまちをつくる条例」の施行に伴う周知・啓発活動**

同条例に賛同するとともに本会の活動をアピールするため、周知啓発活動に参加しました。

【開催日時】平成31(2019)年3月20日(水) 午前7時50分～午前8時30分

【場 所】長野駅前広場及び東口デッキ周辺

【参加者数】33人

## (11) 他の環境団体等への周知

平成 29 (2017) 年度活動成果報告書「手をむすんで」やパンフレットを個人や事業所などに配付をしました。

また、各新聞に記事として取り上げられるなど環境活動をPRしました。

## 5 会議

### (1) 通常総会

日 時：平成 30 (2018) 年 6 月 17 日 (日) 午前 10 時～正午

会 場：長野市役所第一庁舎 5 階 庁議室

出席数：出席者数 98 名 (出席者 33 名+委任状 65 名 会員数 150 名)

内 容：平成 29 (2017) 年度活動報告、収支決算報告、監査報告について

平成 30 (2018) 年度運営方針 (案)、活動目標・活動計画 (案)、収支予算 (案) について

「アジェンダ 21 ながの-環境行動計画-2018」(案)、会則等の一部改正 (案) について

役員 (理事・監事) の改選について

### (2) 理事会

ながの環境パートナーシップ会議の運営等について協議するため、理事会を 13 回開催しました。

第 7・11・12・13 回の理事会では、プロジェクトリーダーとの合同会議を開催し、各チームリーダーから進捗状況等について説明を受け、プロジェクト活動について助言を行いました。

また、第 4・5・9 回の理事会について、電子メールを用いたみなし決議としたことで、業務の効率化を行いました

| 回数   | 開催日時             | 理事等 | 備考    |
|------|------------------|-----|-------|
| 第1回  | 6月7日(木) 18:00～   | 8人  |       |
| 第2回  | 7月12日(木) 18:00～  | 11人 |       |
| 第3回  | 8月8日(水) 16:00～   | 11人 |       |
| 第4回  | 8月31日(金)         | 9人  | みなし決議 |
| 第5回  | 9月21日(金)         | 9人  | みなし決議 |
| 第6回  | 10月18日(木) 18:00～ | 8人  |       |
| 第7回  | 11月15日(木) 15:00～ | 10人 | 合同会議  |
| 第8回  | 12月12日(水) 18:00～ | 7人  |       |
| 第9回  | 1月28日(月)         | 9人  | みなし決議 |
| 第10回 | 2月25日(月) 15:00～  | 9人  |       |
| 第11回 | 3月14日(木) 18:00～  | 12人 | 合同会議  |
| 第12回 | 4月11日(木) 18:00～  | 15人 | 合同会議  |
| 第13回 | 5月16日(木) 18:00～  | 12人 | 合同会議  |

### (3) 各プロジェクトチームのミーティングの開催

各チームで随時開催しました。



## 6 市政等への参画

| 審議会等名称   | 会員名   |
|--|-------|
| 長野市地球温暖化防止活動推進センター運営委員<br>長野広域連合ごみ処理手数料審議会委員<br>豊かな環境づくり長野地域会議運営委員 | 金井 三平 |
| 長野市環境審議会委員   | 赤羽 和春 |
| 長野市健康増進・食育推進審議会委員  | 佐藤 敏夫 |
| 長野市廃棄物減量等推進審議会委員   | 西澤 和雄 |
| 長野県緑の基金理事  | 片桐 勝治 |
| 長野市環境こどもサミット実行委員会委員  | 小山 勝宏 |

## 7 その他

### (1) 寄附

平成 31 (2019) 年 1 月 25 日、長野卸売市場協同組合様から本会へ寄附金の贈呈がありました。

【内容】長野卸売市場内の約 80 の事業所で作る同組合は、市場内で出た古紙を原料にトイレト  
ーパーを製造し、各事業所に販売しています。このたび、同組合からこのトイレトペー  
ーパーの売上金の一部を市内の環境保全活動に役立ててほしいと本会に寄附していただきま  
した。

【寄附金額】 59,500 円

### (2) 会員

令和元 (2019) 年 5 月末現在の会員数 : 179 (平成 30 (2018) 年 5 月末 : 150)

### (3) ながの環境パートナーシップ会議への年間活動参画者数

|                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 平成 19 (2007) 年度 2,495 人 | 平成 25 (2013) 年度 3,638 人 |
| 平成 20 (2008) 年度 3,152 人 | 平成 26 (2014) 年度 3,566 人 |
| 平成 21 (2009) 年度 2,448 人 | 平成 27 (2015) 年度 3,766 人 |
| 平成 22 (2010) 年度 2,790 人 | 平成 28 (2016) 年度 4,112 人 |
| 平成 23 (2011) 年度 4,116 人 | 平成 29 (2017) 年度 4,629 人 |
| 平成 24 (2012) 年度 4,176 人 | 平成 30 (2018) 年度 4,842 人 |